

市民病院広報 第2号

竜んおとし子



- 目次 -

医師紹介	2
七夕バイキング	3
七夕まつり	4
糖尿病教室	5
職場紹介	6
市民の声・国体出場者紹介	7
歴史探訪、編集後記	8

平成16年8月

発行 平戸市民病院
平戸市草積町1158-1

TEL 0950-28-1113
FAX 0950-28-0800

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/hospital/>
編集 広報委員会



はじめまして

市民の皆様お世話になります

干支 星座 座右の銘 趣味



鈴木 淑男 医師
すずき よしお (外科)

子年 乙女座 無し
仕事に近い? 釣り
昭和二十三年九月二日生
(関東大震災 一百十日)
仕事 趣味に近い? 外科医
その他 昭和三十九年より
ム(ボンレスハムではない)小
型船舶操縦(ペーパー免許者)
廃物利用 (年代物電気計算機
の再生)血液型 O型
平成十六年五月からお世話に
なっています。和歌山県田辺市
の生まれです。気候、風土等共
通した所が多いと感じています。
二十数年の療養所勤務で、最新
の医療から乖離している所がま
まあるかと思っています。特に
専門とすることはありません。
色々、所詮何でも屋、八百屋で
しょうか。
言葉が標準語?で、当地には
意味不明の言語があるかと心配
しています。よろしく願いま
す。



吉山 慶三 医師
よしやま けいぞう (眼科)

猪年 乙女座 諸行無常
釣り
六月一日から市民病院に赴任
しました。約一か月ほど経過し
て、だいぶ仕事にも、平戸の生
活にもなれてきたところです。
こちらに赴任する前は、福岡市
済生会病院に勤めていました。
都会でビルに囲まれた生活で
したので、こちらの自然に囲ま
れた生活は大変新鮮です。
また、平戸のお年寄りには、皆
さん大変元気で健康な方が多い
という印象です。
皆さんが健康な生活を送る上
での手助けをできればと考えて
います。



山口 貴之 医師
やまぐち たかゆき (整形外科)

牛年 てんびん座
なせばなんとかなる
車いじり、釣り、持久力のい
らないスポーツ、子供と戯れる。
皆さんこんにちは、六月から
勤務させて頂いています。不機
嫌そうに見られることが多いの
ですが、実は気のいいやつです。
怒りモードになるつぼは浅いで
すけど・・・あと、アルコール
も飲めそうに見えて実は下戸
です。
小学校から高校まで剣道を続
け、大学ではバレーボールを始
めて西日本大会準優勝を経験し
たりと、なかなか武闘派だつた
んですが、当時から二十キロ以
上も太ってしまった今では、靱
帯断裂や半月板損傷が怖くて、
魚と戯れる毎日です。かなり広
範囲に出発していますので、気
軽に声をかけてください。これ
からもよろしく願います。

六月二日からお世話になって
います。平戸で働くのは初めて
ですが、子供たちは素直で、元
気な子が多く、スタッフの方々
もみなさん親切で、楽しく仕事
をさせていただいています。
平戸は自然に恵まれ、海がき
れいで、魚も美味しいので、こ
れ以上太りすぎないかだけが心
配です。
小児科医は自分ひとりなので、
行き届かない面やご迷惑をかけ
ることが多々あると思いますが、
みなさんよろしく願います。

子年 しし座
笑う門には福来る。
フライフィッシングを一年前
から始めました。(まだまだ
下手ですが・・・)



光 武 伸 祐 医師
みつたけ しんすけ(小児科)

セタデザートバイキング



七月二十日にセタバイキングを行いました。給食
では食べたいものを選ぶ機会がないので、好きなも
のを目の前で選ぶことができるようにと、年に二回
デザートバイキングを催しています。
メニューは、団子・和菓子・ゼリー・フルーツパ
ンチ・果物などの中から選んでいきます。
療養病棟食堂では、デザートバイキングの時間を
利用し、先に行われた【セタまつり】のビデオ上映
もあり、楽しいひとときを過ごしました。



七夕まつい



7月6日(火)に七夕まつりが開かれました。この日はゆかた姿でたくさんの患者さんが参加しました。まず、「舞いりハ」の嚙下体操で体をならし、お手玉入れゲームで七夕まつりがスタートです。1人20個のお手玉をかごの中に入れるゲームですが、皆さんソツなくこなし余裕の表情でした。

風船バレーやトイレットペーパー巻きもあり、メラメラと闘志を燃やしているのが印象的でした。

ゲームの途中では、2人の患者さんがアカペラで「岸壁の母」,「かごの鳥」などを熱唱し、私たちの心をジーンとさせてくれました。また即興で「バナナのたたき売り」も登場し、盛り上がりました。最後は恒例のパン食い競争です。皆さん大口開けてパンにかぶりつきましたね。もちろん私もですが・・・この日は、歌って、笑って、体を動かして、とても楽しい一日でした。

今回は、ご家族の参加が少ないようでした。昼間の行事でなかなか参加する時間が取れないと思いますが、授業参観感覚で、次回はぜひ参加していただき患者さんと一緒に楽しんでください。



第1回糖尿病教室を開催！

6月18日に本年度第1回目の糖尿病教室を開きました。医師による糖尿病についての講話や保健師による平戸市における糖尿病の推移、食事療法についてのグループワークなど、盛りだくさんの教室となりました。今回の参加者は44人で、初めて糖尿病と診断された方から、昨年度に引続き復習をかねて参加された方など様々です。

現在、糖尿病にかかっている人は、全国で600万人、境界型糖尿病の人が1300万人いるといわれています。こうした人たちが、食事のコントロールなどをしない生活を続けると、高齢化社会も加わって、糖尿病の罹患率は今後さらに高まることでしょう。今日、糖尿病の合併症である網膜症で失明する人や腎症による透析療法を受ける患者様が急増し、医療費も増えつづけています。幸いにも、糖尿病は初期の段階なら比較的容易に症状を改善することができます。そのためには、糖尿病を早く発見し、糖尿病についての正しい知識を身につけ、それを実行することが大切です。

皆さんも糖尿病教室に参加して、私たちと一緒に勉強しませんか。次回は、糖尿病の合併症、食事療法についての体験コーナーなどを予定しています。糖尿病で治療中の方やそのご家族の方、興味のある方など、ぜひご参加ください。



患者様からのご意見

なるべく参加させていただくつもりです。わかっているつもりでも、いつのまにか、カロリーオーバーになっているようです。教室を開いていただくことによって、ガツンと自分に厳しく自覚、継続して頑張りたいです。

「なってから」より「なる前」の意味で、40代、50代の人々の糖尿病教室参加への配慮を希望します。

糖尿病教室のおかげで、養生法がわかり助かっています。今後ともよろしくお願いします。

わたしたちの職場を紹介します

2階病棟で～す



2階病棟は、病床数58床の一般病棟です。一般病棟というのは、治療が必要な患者様が入院する病棟のことです。中南部で唯一の入院施設ですから、年齢も高齢者から乳幼児まで幅広く、また、外科、内科、整形外科、眼科、小児科と5つの診療科の患者様に対応できるようになっています。

看護は、患者様2.5人に対し看護師1人の割合で行っています。看護助手も6人いて、身の回りの事を主にお世話しています。スタッフは32人で平均年齢は35歳です。

本年度の目標を「患者様の生命を尊重し、看護判断及び実施行為に責任を持つ」とに設定し、患者様と接しています。ばたばたと目まぐるしい毎日ですが、笑顔と若さで乗り切って頑張っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

給食室で～す



こんにちは、給食室です。

患者様の「おいしかったよ」のひとことを励みに食事を作っています。平成13年5月1日から、九州第2位のシェアを誇る(株)レオック西日本に民間委託しています(管理栄養士以外)。給食室のスタッフ構成は、管理栄養士1人、栄養士1人、調理師・調理員12人の合計14人です。

疾病にあわせた食事の提供はもちろんのこと、食べるということは、生きていくうえで欠かせない行為であり、楽しみでもあります。

食の楽しみという観点から、月1回の選択メニューと、年2回デザートバイキングを催しています。

患者様の笑顔が少しでも多くみられるように、日々精進していきますので、これからもよろしくをお願いします。



おめでとうございます

～村川紀美子看護師、剣道全国大会出場～

外来に勤務している村川紀美子看護師が、8月3日に東京の日本武道館で行われる「第21回全国家庭婦人剣道大会」に本県代表として出場することになりました。また、長崎県の剣道国体強化選手にも選ばれており、今回の大会の活躍によっては、10月24日に行われる国体剣道大会の代表も期待されます。



そこで、今回の出場等に関していろいろとお聞きしました。

Q1 剣道はいつ頃から？ 始めたきっかけは？

中学入学時、先輩の道着袴姿に憧れて入部しました。

Q2 剣道をやって良かったこと、つらかったことは？

良かったことは、稽古・合宿などを通して各県の強化選手と交流ができ、精神的にも鍛錬ができたことで、辛いことは、長崎までの稽古に行くまでの道のりです。

Q3 今回、全国大会に出場することに対する感想をお願いします。

各県の強化選手と武道館で剣を交える事を大変誇りに思います。平戸の子供達の励みになればと思います。

Q4 これからの目標を教えてください。

今回の強化合宿や稽古で学んだことを子供たちに伝えていき、地域の剣道の発展に役に立ちたいです。また、県内だけにとどまらず全国に目標をおき、日本一・世界一の剣士を育てたいです。

みなさん、これからの活躍を応援しましょう!



草積町の林さんから広報誌
を読んだの貴重な感想をい
たきました。これからも皆さ
んのご意見をいただきながら
頑張りたいと思います。
今後とも皆さまのお声をお聞
かせください。

草積町 林 李代子

新しく生まれ変わった広報誌。内容はもちろんのこと、多くの写真入りで院内の様子が良くわかり、興味深く拝読いたしました。
毎日の生活でストレスを感じることが多い現代社会ですが、外来の待合室ではほのぼのとした会話が交わされています。
誰かさんが来てないけど具合が悪いのではないかと案じているのです。相手を気遣う気持ちは十分わかりますが、反面微笑んでしまいます。
病院は、そういった患者さんや訪れる方々の唯一の場所でもあるのです。
「癒す」雰囲気のある病院であって欲しいと思います。
広報誌を拝読し、スタッフの皆さんの新たな心ゆき、挑戦を感じました。これからを期待しています。

広報誌を読んで
「癒し」の雰囲気も大切だ

ふるさと歴史探訪

ねしこ



ただ今猛暑の真っ最中、この夏といえば、県外からの海水浴客で賑わう根獅子の浜は有名ですが、今回は根獅子が探訪地です。コバルトブルーの海の色と遠浅の白い砂浜は、いつ訪れても心がひきつけられます。根獅子は、かくれキリシタンの里としても有名で、キリシタン資料館やおろくにん様、小麥さまのお墓など、歴史的にも貴重な資料が残っています。また、学校跡地にrippな海浜公園が整備され利用されています。

一五八八年、豊臣秀吉のキリシタン禁制、さらに、一六一三年の家康の禁制により、切支丹信徒にとつて長くて暗い受難の日々が続いていく。次第にきびしくなる弾圧のなかで、多くの切支丹信徒が捕らえられ処刑されました。一六三五年、薄香、獅子、根獅子の切支丹七十人余りが、根獅子の浜で処刑されました。その遺体は海に流されたといわれています。その後、海に捨てられた遺体のうち六体が浜についたので、おもむろに葬ったといわれ、六人を葬ったのでおろくにんさま、または、うしわきさまと呼ばれています。二八〇年余りにわたる厳しい迫害と圧迫を受けながら、信徒の信念と団結は強くなり、オラシヨを唱えかくれキリシタンとなり、信仰を守り続けました。



おろくにん様



キリシタン資料館

二十六代松浦藩主鎮信公は、秀吉の朝鮮征伐に従軍したとき、小麥畑に隠れている姫を見つけ一五九八年、平戸に連れ帰りました。この姫を小麥様といい、鎮信の側室となり三人の子供を生み、その一男松浦蔵人信正は、根獅子、獅子、生月に三千石を与えられました。鎮信公が亡くなると、小麥様は、髪をそり尼となつて根獅子に移り住み、一六二九年に亡くなったそうです。



小麥様の墓

編集後記

第2号の「竜のおとし子」はいかがでしたか。第1号に比べると若干ページ数・内容は少ないですが、わかりやすい内容になっていると思います。現在は、病院内の日々の取組みなどの紹介を行っていますが、「こんな内容も載せたらどう」など、皆様からのご意見・ご要望をぜひお寄せください。皆さんはこの暑い夏をどうやって過ごしていますか？わたしは、スポーツで汗を流して体調を整えています。皆さんも夏バテをしないよう体調管理に気をつけて、暑い夏を乗り切りましょう！ 豊住